

国際公共政策研究センター
主任研究員 神野雅人

プーチンの政策構想(1):「プログラム 2012-2018」

1. はじめに

3月4日に行われる大統領選挙で当選が確実視されプーチン首相は、1月以降選挙キャンペーンの一環としてメディアに重要問題に関する自らの政策、考え方を示す文書や論文を断続的に公表している。本稿では大統領選挙のプラットフォーム「プログラム 2012-2018」(以下「プログラム」)の概要を報告する。これは同氏が1月に自らのウェブサイト「ウラジミール・プーチン 2012」¹上で公表したものである。

2. 構成及び概要

プログラムは正確には選挙プラットフォーム草案とされており、ウェブサイトに寄せられた国民の意見や提案を取り入れて改訂し、今後最終版を発行する予定であると表紙に記載されている。

プログラムは下表にある6章から構成され、各項目に関する政策案・重点項目等が挙げられている。

図表: プログラムの構成

	タイトル	内容
1	これまでの実績と今後の課題	プーチン氏の実績の強調と次期任期中の主要課題
2	我々の価値	国民の統合 人間開発 地域開発
3	価値ある人生－偉大な国家の国民	社会的領域
4	強い経済－強いロシア	経済政策
5	国民が管理する効率的な権力	行政と国民の関係
6	複雑化する世界における強いロシア	国際関係

以下、各項目の概要。

(1) これまでの実績と今後の課題

プーチン氏の大統領就任(2000年)以降の実績として、分離主義に対する勝利、1990年代の危機克

¹ <http://putin2012.ru/>

服、債務完済、政治的安定と経済成長などが以下のように強調されている。

- ーGDPは約1.5倍、国民実質所得は2.5倍に拡大し、貧困ライン以下の国民数は半減した。年金・給与は大幅に増加し、失業率は35%低下した。インフレ率は20%（2000年）から7%（2011年）と3分の1に低下した。2010年の出生数は2000年比40%増加し、死亡率も大きく低下した。2008～2009年の世界経済危機に際し社会的支出を増やした。これは政府の政策効果であり、資源と準備金の蓄積によるものである。
- ーロシアの国際的影響力は高まり、国軍は強化され、ロシアは新興国の「クラブ」に加わり、購買力平価ベースで世界第6位の経済大国となった。

課題としては、次のとおり「生産性の2倍化」が最重点とされている。

- ー今後は国民の生活水準を世界最高レベルに高めることを目標に、そのために必要な課題解決に取り組む。
- ー貧困、困難なビジネス環境、蔓延する汚職、非効率な官僚組織等解決すべき問題は多いが、次の10年の最大の課題は経済と社会の非効率性の克服である。
- ー経済の近代化、起業と投資の増大と、生産性を先進国並みに向上させることによって国民の生活水準向上と国家の安全保障確保を実現する。次の10年における戦略的課題はロシア経済の生産性を2倍にすることである。

そして「国民戦線及び広範な国民の支持のもと、我々は国家近代化に邁進する決意を宣言する。ロシアは変わる。国民が安心して生活し、働き、子供・孫を育て、誰もが自己の夢を実現できる国となる。」と結ばれる。

(2) 我々の価値

第2章「我々の価値」は、①ロシア国民の精神性と団結、②人間開発、③ロシアの将来・地方の3項目から構成される。

①ロシア国民の精神性と団結

要旨は次の通り。

- ー国家的課題解決のための正しい回答は道徳的に健全な社会においてのみ見出しうる。我々の強みは精神的豊かさと多民族ロシアを構成される国民の団結である。
- ーメディア、インターネットにおける道徳的基盤を守り、新しい技術を国民のために活用する。排外主義、ナショナリズムが広がることを防ぐ。
- ー文化・芸術面におけるロシア人アイデンティティ保護、芸術領域におけるリーダーシップ発揮に注力する。

②人間開発

- ー人間開発の重視、教育、保健、住宅、社会的サービス、社会保障、年金制度の整備によって、すべての国民が家族と豊かな生活を送り自己の潜在能力を最大限に発揮できる国家を目指す。

③ロシアの将来 地方

- ーロシアは世界最大の国土に1億3千万の人口が居住する国であり、すべての地域の国民の生活を保障し、危機に陥っている地方の問題解決が重要である。
- ー予算の重点配分・税制優遇・国土有効利用計画、地方都市計画専門機関・基金の設置等による地域開促進及び水供給、廃棄物処理施設建設、道路、幼稚園、スポーツ施設等、基本的なインフラ整備を進める。

(3) 価値ある人生ー偉大な国家の国民

この項目では次のように社会的領域が対象とされる。

①給料・年金

- ー年金制度改革を進め、年金及びその他給付を増額する。

②家族ー公共政策の中心

- ー子供を持つ家族の支援強化、子供手当増額。3年以内に地方における保育園不足解消。若い夫婦の住宅取得支援。出産後職場復帰する女性の再教育支援等。

③住宅

- ー住宅改修プログラム促進

④学校

- ーロシアの教育水準を世界最高レベルに戻すことを目標に、教員給与引き上げ・校舎改修・設備更新を進める。
- ー国家統一試験制度の改善により、制度の悪用を防ぎ、すべての地方の才能ある子供が最高の大学で学ぶことができる機会を与える。
- ー世界最高水準の職業教育を完備する。
- ー質の高い教育を行う大学への予算重点配分等

⑤保険・衛生

- ー医療の質の向上に注力する。
- ー環境面では i 廃棄物処理 ii 大気及び水質 iii 森林保護 iv 公園拡大を優先課題とする。
- ー若年者へのアルコール、タバコ販売の厳罰化、公的な場所における広告禁止。
- ー「健康地域」及び「健康都市」の設定によるスポーツ普及。スポーツ施設増設、アスリート選抜・教育システムの統一等

⑥障害者

- ーすべての公的施設のバリアフリー化。
- ーインターネットを活用した政府サービスのリモート化。
- ーリハビリテーションセンターのネットワーク化により障害児教育の機会を増やす。

(4) 強い経済ー強いロシア

経済政策分野では、①近代化、②イノベーション、③新しい村、④公正で効率的な租税、⑤輸送の5項目が重点とされている。

①近代化

- ー過去 10 年間の経済発展は、原油価格上昇とソビエト期の蓄積によるもので、今後の発展のためには投資の飛躍的増大が必要である。
- ーそれによって今後 20 年間に新領域において 2500 万の雇用創出を目指す。
- ーGDP に占める投資比率を現在の 20%から最低 25%以上に引き上げる。
- ーテレコミュニケーション、情報技術、バイオテクノロジーの発展を最重点分野とする。
- ービジネス環境整備のために行政障壁の除去を引き続き進める。起業の保証、個人財産への攻撃を排除する。
- ーインフレ率低下と国内金融市場整備による長期資金供給を可能とする。
- ー政府支援による輸出マーケット拡大。
- ー今後 5 年間で連邦財政を健全化し、財政赤字を無くす。
- ー住宅におけるエネルギー貯蔵技術開発によるエネルギー効率改善を図る。

②イノベーション

- ー大規模なイノベーションによる経済の質及び競争力の飛躍的向上、新技術の普及促進。
- ーイノベーションのための人材開発と世界から人材確保。
- ー科学予算、中小企業のイノベーション及び「ブレークスルー・プロジェクト」支援拡充。スコルコヴォのみならずすべての科学都市を発展のエンジンとする。

③公正かつ効率的な租税

- ー公正かつ効率的税制による新規ビジネス促進。
- ー租税関連文書の電子化 査察削減 税報告簡素化

④新しい村

- ーロシア国民の 3 分の 1 が居住する農村部の生活条件の近代化：道路、水道、電気、学校、病院、文化的施設の整備を進める。
- ー近代的農産物マーケティングシステム導入による農業支援近代化：農産物卸売・貯蔵センター建設による安定的販売確保。
- ー農業生産リスク保険システム整備、農業ビジネス起業支援、農業技術・新製品に関する情報センター設置等

⑤道路建設

安定した輸送ネットワークによる可動性の向上は、地域の統合を促進し全の製品の輸送コスト削減につながる。以下の項目を実施する。

- ー主要都市間に高速鉄道を敷設する。極東シベリア住民のための空路拡大・航空運賃優遇等を実施する。
- ー建設コストを重視した道路建設：建設者に建設後の道路の質に責任を持たせる。
- ー近代的安全基準を満たした快適な公共輸送を国民に提供する。
- ー交通管理の拡充：信号設置、交通事故登録手続き簡素化。

(5) 国民が管理する効率的な権力

ここでは、ロシアで特に問題とされる行政の非効率、公務員の汚職等の問題を取り上げ、国民との関係の正常化を図るとしている。

- －行政機関のアカウントビリティ確保。すべての国家・地方の行政サービスに適用される基準を確立する。
- －行政手続きの電子化促進
- －国民からの苦情処理手続きの簡素化
- －行政裁判所創設
- －公共調達、道路建設、住宅・設備、警察等、最も汚職と非効率の温床となる危険がある領域の権力行使に国民監視システムを導入する。
- －警察は合法的ビジネスを守るものであって敵対するものであってはならないことを徹底する。
- －裁判前の拘束、拘禁の範囲縮小

(6) 複雑化する世界における強いロシア

ここでは主に外交等の領域が対象とされるが、プーチン氏が昨年秋に提案した「ユーラシア同盟」を中心とした地域統合が第一に挙げられている。また今後の最大の予算増加項目である軍の近代化も登場する。

- －地域統合プロジェクト推進によるロシアな新たな発展機会確保。2012年からの共通経済領域（ロシア、ベラルーシ、カザフスタン）をユーラシア同盟に発展させる。
- －文化的交流、海外におけるロシア文化・言語研究、ロシアへの旅行者拡大
- －海外で働くロシア人のケア
- －国際協調を促進・テロとの戦い・軍縮・集団安全保障 国際的責任
- －軍の近代化：人員増強によらず訓練水準の向上及び近代的テクノロジーによる。

3. コメント

プーチン氏は、大統領選に立候補することを表明した昨年9月24日の統一ロシア党大会において自らの次期大統領としての政策について羅列的に述べるスピーチを行い、それを選挙綱領とするとされていたが、プログラムはその内容を整理したものとの印象である。

プーチン氏と統一ロシアの主な支持基盤である公務員、軍人、農民、年金受給者等を対象とする社会的領域の拡充や地域開発などに重点が置かれており、また、経済政策についても「イノベーション的発展」だけではなく、例えば起業促進のために「個人財産への攻撃排除」すなわちロシアで問題とされる汚職警官による経営者の不当逮捕による財産収奪の禁止や、税務当局の査察の削減や税報告手続きの簡素化等、実態を踏まえて国民が求める問題を取り上げている。メディアの自由への言及、警察による裁判前の拘束、拘禁の範囲縮小も同様であり、これまでのプーチン体制下の負の面とされる事柄にも触れている。

プログラム公表時点では既に反プーチンを掲げる大規模なデモンストレーションが2度行われていたが、プログラムには政治的民主化に関する項目はない。2月4日には前回を上回る規模の大衆行動も行われており、今後最終的な政策プログラムがまとめられる段階で、情勢の変化に配慮した内容が含まれる可能性もあるだろう。

プログラム以外にプーチン氏が公表した政策文書については別途報告の予定である。

以上